

小島児童クラブ

体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和5年3月16日(木)



「楽しかった、面白かった、やってみて良かった！ またチャレンジしたい！！」

小島児童クラブが、昨年の7月に引き続き、日常ではなかなか体験できないことを楽しんで体得することを目的に、小学1年生から4年生までの13人と指導員6人の19人が来所し、古代織物・弓矢・勾玉作りの3つの体験を行いました。

古代織物体験

・「少し難しかった。」・「疲れた！」・「大変だった。」

縄文時代は、編んで編布(あんぎん)という布にしていたこと、弥生時代は、織って布を作り、貫頭衣(かんとうい)と呼ばれる服を着ていたことなど、古代の織物について説明しました。その後、古代織物キットの袋を開け、縦糸の台紙に横糸の端から10cm位を挟み固定し、横糸の先端を縦糸の奇数番に差し込んでいき、それを何回も繰り返します。集中力と根気がいる作業だったので、低学年の子どもたちには少し難しかったようで、飽きてしまう子もいましたが、指導員の先生方の支援で、全員腕輪を作ることができました。



弓矢体験

弓矢の経験のない子がほとんどだったので、どうなるか不安でしたが、ひとり5本の矢を獲物に見立てた的めがけて射る体験をしました。なかなか思うように弓を操れなかったのですが、慣れてくると高得点的に当てることができる子も出てきて、すごく楽しかったようです。もっと弓矢をやりたいという希望が多く、勾玉作りの後もやりました。

・「楽しかった。」
・「当たらなかったけど、コツをつかめたから、またチャレンジしたい！」



指導員の先生方も熱中してました。

・「面白かった。」

勾玉作り体験

昨年の3月にも勾玉作りを体験しているので、勾玉の歴史についての話を割愛し、3枚の紙ヤスリの使い方を説明し、滑石を削り始めました。慎重に削る子や大胆に削る子など様々でしたが、弓矢をやりたい子どもたちは、第2段階に早く進み、第3段階もすばやく仕上げていました。勾玉を極めたい子どもたちは、根気よく丁寧に仕上げていました。



・「削るのが大変だった。」・「かわいいのが出来てうれしかった。」・「作って良かった。」

指導員の感想

「織物と弓矢の体験は、やったことがなかったので、良い経験になったと思います。小学校では味わえないことが、クラブで体験できたことは大変有意義なものだったと思います。織物は少し難しかったように感じます。しかし、根気よく頑張ること、最後までやり遂げること、完成することができた喜びなどいろいろ体験できて良かったと思います。途中、子どもたちがわがままを言って計画が少し変更になってしまったときも、快く対応していただきありがとうございました。」



とっても楽しかった！